

みんななかまさ!

〈 れいはいのプログラム 〉

しかい : かなざわ けいこ

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1、しずかなころ | |
| 2、みんなで歌ううた | ♪「ハミング」P. 31 |
| 3、みんなでいのる | 主のいのり P. 92 |
| 4、みんなで読むせいしょ | マタイによる福音書第 6 章 25-34 節 |
| 5、みんなで歌ううた | ♪「弥勒世界報 (みるくゆがふ)」P. 42 |
| 6、みんなで聞くおはなし | 「わたしとあそんで」すがさわ くにあき |
| 7、みんなで歌うさんびか | 讃美歌 501 番 ♪「いのちのみことば」P. 77 |
| 8、けんきん | ♪「いまそなえる」P. 92 |
| 9、しずかなころ | |

〈今日の活動〉 水あそび

〈 ほうこく 〉

6日(日)は、「こども」でした。絵本「わたしのワンピース」(作:西巻茅子/こぐま社、1969年)を読んできました。みんなの2学期が始まっています。いっぱい勉強して、いっぱい遊びで、元気な毎日が過ごせますように。

今日は、少し気温も低め。「今日はもう、水あそびじゃないのかな?」と、水あそびの準備をしてこなかったお友だちも多く、「さて、どうしよう」。でも、プールの準備はしてあるし、「遊びたい子は、あそぼう!」ということで、大人も分かれて、それぞれ好きな遊びを楽しむことにしました。プールは、ほぼ貸し切り状態!いつもより広々と、のびのび遊ぶことができました。一方、園舎2階では、積み木で遊ぶチームも。「カブラ」という細長い積み木を上手に組み合わせると、びっくりするような造形物が出来上がります。みんな夢中になって遊ぶので、園長先生が、なんとあと2組も追加で購入してくれました。(これが、なかなか高価なものなのですが...)でも、園長先生いわく、「みんなが存分に遊んでくれるなら、なんてことない!」プールでも、積み木でも。それぞれが「やりたい!」と思う遊びを、たっぷり楽しんだ1日になりました。



〈 こどもといのる 〉

台風の多い季節です。雨の日が続く日々、子どもたちは元気!元気!です。傍にいてだけで、自然に笑みがこぼれます。猛暑の中で咲いているヒマワリの花に、励まされた日々でした。秋の訪れを心待ちにしています。(もりや ひろこ)

〈 おしらせ 〉

◇11月14日(土)の「こうどうまつり」に向けて、実行委員を募集します。毎回の参加でなくても大丈夫です。できる時に、できる形で、一緒に楽しい「こうどうまつり」を作っていきませんか。準備や制作など、皆さんにお手伝いをお願いしたい作業がありましたら、随時、ご連絡させていただきます。

牛乳パックを集めています。集まった牛乳パックは「おかえりティッシュ」「ただいまロール」になります。牛乳パックは、45688枚から **82枚** 集まりました。合計 **45770枚** になりました。2016年5月末に80000枚に到達し、2016年6月より新たにカウントをスタートしています。

2026年9月6日(日)





三〇それだから、あなたがたに言っておく。何を食べよ
 うか、何を飲もうかと、自分の命のことで思いわずらい、
 何を着ようかと自分のからだのことで思いわずらうな。
 命は食物にまさり、からだは着物にまさるではないか。
 三一空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、
 倉に取り入れることもしない。それなのに、あなたがた
 の天の父は彼らを養っていて下さる。あなたがたは彼ら
 よりも、はるかにすぐれた者ではないか。三二あなたがた
 のうち、だれが思いわずらったからとて、自分の寿命を
 わずかでも延ばすことができようか。三三また、なぜ、着
 物のことで思いわずらうのか。野の花がどうして育って
 いるか、考えて見るがよい。働きもせず、紡ぎもしない。
 三四しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソ
 ロモンでさえ、この花の1つほどにも着飾ってはいな
 かった。三五きようは生えていて、あすは炉に投げ入れら
 れる野の草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、
 あなたがたに、それ以上よくしてくださらないはずがあ
 ろうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。三六だから、何を食
 べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言っ
 て思いわずらうな。三七これらのものはみな、異邦人が切
 に求めているものである。あなたがたの天の父は、これ
 らのものが、ことごとくあなたがたに必要なであることを
 ご存じである。三八まず神の国と神の義とを求めなさい。
 そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられる
 であろう。三九だから、あすのことを思いわずらうな。あ
 すのことは、あす自身が思いわずらうであろう。一日の
 苦勞は、その日一日だけで十分である。